

地域社会との密接な連携を築こう

～ 地域とともに高取っ子を支えていこう ～

高浜市立高取小学校 P T A

1 学区及び学校の概要

本学区は、高浜市の東部に位置し、校庭のすぐ横を矢作川水系の稗田川が流れ、その向こうには多くの水田が広がっている。秋になると稗田川の土手には多くの彼岸花が咲き誇り、その光景を写真に収めようと多くの観光客でにぎわう。近年では、大きな瓦工場や水田の跡地に宅地開発が進み、住宅が増えつつある。本校は、約500人程度の児童が在籍しており、今年で創立130年を迎える。

この地区は、高取まちづくり協議会が中心となって、各関係団体が協力してさまざまな取組や行事を行っている。また、鷹取の会（おやじの会）は、子どもたちの健全育成を目指してさまざまな体験活動や行事を積極的に行っている。

2 研究のねらい

本校は、「心豊かで たくましく 実践力のある子どもを育てる」の教育目標の下、「夢をもち、将来を豊かにたくましく拓く子」を目指す子ども像として、日々教育活動を行っている。学校要覧には、「家庭・地域（各種団体）との連携 ―子どもと子どもの夢をともに支える―」が示されており、学校教育だけでなく地域と共に子どもたちの健全育成を進めようとしている。

そこで、P T Aが学校だけでなく地域とも連携していくことで、地域全体で子どもたちの成長を支えていく体制をより強固なものにしていきたい。

3 研究の仮説

P T Aと地域の各関係団体が連携して子どもたちの体験活動の場や行事を充実させることができれば、子どもたちの健やかな育ちに貢献することができるであろう。

4 研究の方法

地域の協力を得ながら学校の教育活動やP T A行事を企画運営したり、子どもたちが多く参加する地域の活動や行事の運営に協力していく。

5 研究の実践

（1）地域の協力を得ながら充実した学校の教育活動やP T A行事を進める

ア 5年生の米づくり体験学習（田植え・稲刈り）

地域の方やJ A高取支店の協力を得て米づくりの体験を行っている。田起こしや代掻きなどの準備をしてくださるので、大変な準備をすることなく田植えや稲刈りの体験を行うことができる。体験当日は、保護者にも参加を呼びかけ、苗やわらの運搬や足洗い場の設置、さらには道路の清掃などを手伝ってもらっている。ここで作られた白米は、調理実習で炊飯して食べたり、市の子ども食堂へ寄付したりしている。



社会科の授業としての視点だけでなく、食育の視点としても充実した体験活動ができた。

イ P T Aによるクリスマス・イルミネーション

12月の月上旬から年末にかけて、校舎の壁面を活用して巨大なクリスマスツリーを模したイルミネーションを点灯している。このイルミネーションの設置には、知識や技能を必要とするが、役員等が1年で交代してしまうため、その技術が伝承されない。そこで、歴代のP T A役員等が在籍している鷹取の会の協力を得て、イルミネーションの設置を行っている。昨年度は、12月11日（土）に点灯式を実施し、多くの子どもとその家族が訪れ大盛況であった。2週間ほど点灯していたが、その間も毎日のように家族連れが訪れクリスマスの気分を味わい、家族で素敵な思い出をつくっていた。

（2）高取っ子が多く参加する地域の活動や行事の運営に協力する

ア 鷹取の会（おやじの会）主催の「どろんこカップ」の運営補助

米づくり体験を行っている学童農園を利用して、鷹取の会が「どろんこカップ」開催している。例年、多くの児童がこの会に参加して、泥の感触を味わいながらさまざまなゲームを楽しんでいる。本校の子どもたちが多く参加する行事であり、会を運営するためには多くのスタッフが必要となるため、今年度からP T Aの役員や研修委員が当日の運営補助として協力を始めた。子どもたちは、泥にまみれてその感触を楽しみながら、さまざまなゲームを楽しむことができた。



イ まちづくり協議会主催の「たかとり夏フェス」の運営補助

例年8月の月上旬に、盆踊りを主として行っていた夏まつりが一新され、「たかとり夏フェス」として子どもたちが楽しめるイベントに生まれ変わった。キッズダンスコンテストや、愛知教育大学の学生による縁日屋台、ストリートスポーツ体験など、子どもたちが参加したくなるものになった。P T Aは、当日の運営補助として会場設営や来場者の受付、後片付けなどを行った。当日は、本校の子どもたちも保護者ととともに多数来場した。コロナ禍で多くのイベントが中止された後の大きなイベントとあって、大変盛況で子どもたちもよい体験ができた。



6 研究の考察

P T Aが地域と連携することで、学校内だけでなく地域の中で子どもたちが充実した活動することに貢献できた。

7 成果と今後の課題

少しずつではあるが、このような取組が地域一体となって高取っ子の健やかな育ちを支えようとする輪を拓けると感じた。共働き家庭が増えP T A活動に理解が得られにくい状況にあるが、少しでも参加しやすくなるような活動の在り方を模索しながら、子どもたちの健やかな育ちに貢献できるP T A活動を推進していきたい。